

注目 アスリート

かごしま国体・かごしま大会が開催される2020年に向けて、活躍が期待される選手をご紹介します。



全国障害者スポーツ大会
サッカー(知的)



鹿児島ユナイテッドFCフューチャーズ
原良田 龍彦 選手

H30年度
知的障がい者サッカー
日本代表選手

監督の言葉に支えられて

小学生の時、友達からの誘いでサッカーを始めました。保育園の時に知的障害と診断された私が、仲間と団体競技を楽しめるのかと父からは心配されましたが、その時の少年団の監督に「障害は関係ない」と背中を押していただき、サッカーを続けることができました。現在は知的障がい者サッカーチーム「鹿児島ユナイテッドFCフューチャーズ」の選手として活動しています。

世界大会で決めたゴール

昨年、初めて世界大会に出場しました。5位・6位決定戦ではPK戦で惜しくも敗退しましたが、延長ロスタイムに同点ゴールを決めることができ、本当にうれしかったです。かごしま大会では、鹿児島県の優勝に貢献できるように頑張ります。そのために、日々の練習から目標を持ってトライし続けていきたいと思っています。



国民体育大会
ホッケー



鹿児島県体育協会
満吉 亮佳 選手

H30年度 国民体育大会5位
H30年度 女子全日本ホッケー
選手権大会3位

スピード感が魅力のスポーツ

小学生から中学生まではサッカーをしていましたが、進学した高校に市内唯一のホッケー部があり、初めて出会ったこの競技のとりこになりました。ホッケーの魅力はスピード感。パス、ドリブル、シュートなど全てにおいてスピーディな展開で、プレーしていても観ていてもとても面白いです。

今度こそ結果で恩返しを

出場した過去2度の国体では悔しい思いをしました。地元開催のかごしま国体では今度こそ結果を出し、これまで指導して下さった方々や応援して下さいの方々に恩返ししたいです。チームみんなで笑って終われるよう、しっかりと練習に励みます。また、自分自身がホッケーをしている姿を一人でも多くの方に見ていただいて、ホッケーという競技を知ってほしいです。



国民体育大会
陸上競技



神村学園高等部
バイレ シンシア 選手

H30年度全九州高等学校
新人陸上競技大会
1500m・3000m 1位

駅伝でつないだチームの絆

高校1年生の時、スポーツ交流のためケニアから日本へ留学しました。陸上大会に出場し、新記録を出したり優勝したりする喜びは何にも代えがたいものです。高校では駅伝にも挑戦しています。初めてタスキをかけて走ったときは走りにくく、コースもアップダウンがあり大変でしたが、次の走者にタスキを渡したとき、今までに感じたことのない感動がこみ上げてきました。

鹿児島は第二のふるさと

かごしま国体では、少年女子3000mで8分48秒16の高校国際最高記録を更新して優勝する事が目標です。

私は鹿児島県を第二のふるさとだと思っているので、自分のためだけではなく、監督やチームメイトはじめ、鹿児島の方々のためにも頑張ります。応援よろしくお願いします。

問い合わせ先

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会事務局 Tel.099-286-2874

かごしま国体・大会

検索